

自動タイプ 屋外設置形 (BL認定品)

ガスふろ給湯器

取扱説明書 保証書付

型番	131-T110型
型式名	GX-S2400AW



このたびはガスふろ給湯器をお買い上げ
いただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、
十分に理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に
保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または
最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型番・製造年月をお知ら
せください。



大阪ガス

もくじ	ページ
製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
必ずお守りください	2
各部の名称とはたらき	7
ご利用前の準備	9
機器の準備	9
現在時刻を合わせる	10

お湯を使うには	11
お湯を使用する	11
優先切替について	12
自動でおふろを沸かすには	13
沸かし直しをするには	14
ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには	15
ふろ温度の設定	15
保温時間の設定	15
ふろ水位の設定	16
音量を変更するには	17
音量の設定	17
おふろのお湯を熱くするには	18
追いだき運転をする	18
おふろのお湯をぬるくするには	19
ぬるく運転をする	19
おふろのお湯を増やしたいときには	20
たし湯運転をする	20

おふろが沸く時刻を予約するには	21
予約運転を開始する	21
省電力機能について	23
省電力モードの解除	23
省電力モードの設定	23
知っている便利な機能	24
手動配管クリーンをする	24
機能の設定を変更する	25
ふろ待機設定をする	25

冬期の凍結予防をするには	26
凍結予防装置による方法	26
給湯栓の水を流す方法	26
機器の水を抜く方法	27
再使用するとき	28
凍結してしまったとき	29
点検のポイント・お手入れのしかた	30
点検のポイント	30
お手入れのしかた	30
定期点検のおすすめ	30
循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)	31
給水口フィルターの掃除	31
点検・お手入れ後の確認	31
故障かな?と思ったら	32
こんな時は故障ではありません	33
アラーム表示について	34
アフターサービスについて	35
仕様一覧	36
保証書	裏表紙

ご利用の前に

基本的な使い方

便利な使い方

長くお使いいただくために

製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

便利です!

- お風呂もシャワー・給湯も、これ1台でOK。
- スイッチオン!の簡単操作でお風呂が沸かせます。(→P. 13)
- 予約タイマー付きだから、忙しい方も好きなときにバスタイム。(→P. 21)



- 浴室リモコンからは、台所や他の部屋にいる人を呼び出すことができます。



快適です!

- お風呂のお湯の温度を自動的に保温します。いつも快適なお風呂です。(→P. 13)



- この機器はふろ配管内の残り湯を流し出す機能があります。新しいお湯約6リットルを流して浴槽の循環口から排出します。(→P. 24)

環境にもやさしい!

- リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。(→P. 23)
- 熱効率が約95%と高いので、ガスをより効果的に使え環境面でもCO2削減に貢献します。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示について



一般的な禁止 火気禁止 接触禁止 分解禁止 必ず行う 電源プラグを抜く アースを接続する

お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX) 参照ページを示しています。

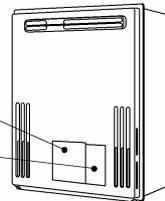
■機器本体の表示について

使用上の注意

- 使用上の注意について表示しています。

銘板

- 型番・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

危険

屋内に設置しない

- 燃焼ガスが室内に充滿したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、給湯栓を全て閉じる。
- ②ガス栓を閉じる。また、メーターのガス栓も閉じる。
- ③お買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスに連絡する。



すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



必ずお守りください

警告

機器設置および付帯工事

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

アース必要

●この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。アースを接続する



増改築などで屋内状態にしない

●設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない
●不完全燃焼や火災のおそれがあります。

ガス接続について

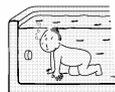
●この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事は専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しおよび付帯工事の際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

機器本体やガスの接続部などに乗らない

●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

お子様には十分な注意を

●浴槽の湯（水）に潜ったり浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子様のご家庭では注意してください。



改造・分解禁止

●絶対に改造・お客様ご自身で分解したり修理は行わない。改造・分解は思わぬ事故や故障・火災の原因となります。



機器の銘板を確認

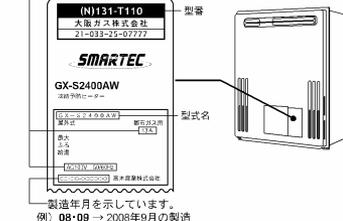
●機器の銘板に表示されているガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

●転居時の注意は（→P. 35）

●この機器はAC100V 50/60Hz共用です。

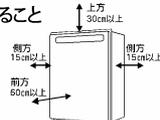
●この部分を必ずご確認ください。

（例：新形ガス13Aの場合）



火災予防のために必ず守ること

●機器周辺のものとは常に図の隔離距離を確保する。



●機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
●機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
●機器の周辺や上にはスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



機器本体の高温部に触れない

●使用中または使用後しばらくは、排気口付近に手を触れない。やけどのおそれがあります。



必ずお守りください

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

●シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。
・お湯を再使用するとき ・給水圧が下がったとき
・お湯の量を急に少なくしたとき ・機器が故障したとき
●給湯・シャワー使用中に、使用者以外がお湯の温度を変更したり、運転スイッチを「切」にしない。
●給湯使用時は出湯管（蛇口）に触らない。
●入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。
●お風呂沸かし（沸かし直し）や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。



手で温度を確かめる



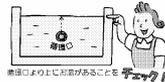
注意

用途についての注意

●一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、お風呂沸かし、暖房以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。

空だき防止

●追いだきスイッチを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯（水）が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



ソーラー機器接続禁止

●ソーラー機器とは絶対に接続しない。ソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。

水漏れに気づいたときは

●速やかに給水元栓を閉じ、機器の使用を中止する。床や壁などを濡らして生じる損害は、お客様の責任となります。

配管カバー（または据置台）についての注意

●配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーをしっかりと閉める。（→P. 31）

異常時の処置について

●地震・火災などの緊急時の場合は速やかに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
●給湯栓を開けても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。
①たちちに使用を中止してガス栓を閉じる。
②「故障かな?と思ったら」（→P. 32〜34）に従って処置をする。

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。



給湯栓・ガス栓を閉じる



次のような場合は使用しない

●増改築や家屋の修繕時（特に外壁の塗装）には、シートで機器を覆うことがあります。そのような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

電気事故防止

●電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。
●電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
●電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除く。ほこりがたまる。湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
●濡れた手で電源プラグを触らない。



●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
●コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。

ドレン排出口から排出される水について

●ドレン排出口から排出される水を飲料用・飼育用などに使用しない。

長期間使用しない場合

●長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をおすすめします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。台所リモコンには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てないでください。故障の原因になります。
- リモコンはお子様がいらずしないよう注意してください。



飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。

断水するとき

- 給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が、給湯配管内にとどまることがあります。

通水使用の禁止

- 運転スイッチを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くします。（冬期の凍結予防を除く）

入浴時の注意

- 循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。



電源プラグを抜かない

- お手入れや長期間使用しない場合、および水抜きを行うときや雷が発生しているとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらずやかに使用を中止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



電源プラグを抜く



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

- 落雷の際に、機器内の漏電スイッチが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」(→P. 26)に従って処置をしてください。急ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結したときは「凍結してしまったとき」(→P. 29)に従って処置をしてください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。



給湯栓を閉じる



- 再通電したときは、リモコンの現在時刻設定を行い、表示を確認したあとご使用ください。
- 自動でおふろを沸かしているときに停電になると、ふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、「沸かし直しをするには」(→P. 14)の操作を行ってください。

乾電池に関する注意

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P. 30)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。
- ドレン排出口の先からスムーズに排水されるか点検してください。ゴミ等によって閉鎖されている場合は掃除を行ってください。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火・使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼ランプで確認してください。

お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音・燃焼ファン・ポンプ回音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハンゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塙などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。(ただし、ドレン排出配管は除きます)

地下水や温泉水、井戸水では使用しない

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫酸・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音が発生したり、フィルターや追いだし配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音が発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 葉草やゆず入り入浴剤の場合は、葉草などがフィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。



禁止

長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」(→P. 27)に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れない、一瞬沸つたお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



排気ガス

- 増改築時には排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。
- この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、故障ではありません。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

ほこり

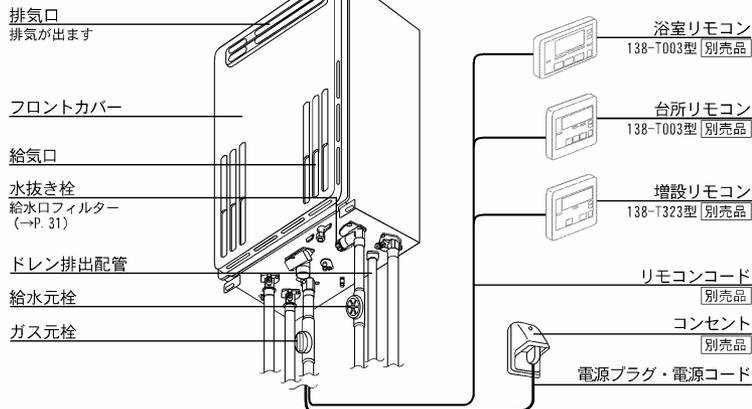
- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

各部の名称と持ちさき

■機器本体



■リモコンセット 138-T003型(別売品) 浴室リモコン

給湯やおふろ沸かしなど、すべての操作を浴室リモコンで行います。台所リモコン・増設リモコンを使うと、台所や他の部屋から操作(一部の操作)をすることもできます。

ぬるくスイッチ(→P. 19)

熱いおふろをぬるくするときを押します。

設定ボタン

ふろ温度・保温時間など各種設定をするときに押します。
長押しすると省電力モードの設定・解除が行えます。(→P. 23)

予約ランプ[緑](→P. 21)

燃焼ランプ[赤]

高温注意ランプ[赤](→P. 12)

たし湯スイッチ(→P. 20)

おふろのお湯を増やしたいときに押します。

予約スイッチ(→P. 21)

時間を指定しておふろを沸かします。

優先スイッチ(→P. 12)

給湯温度調節の優先を切替えるときに押します。

上下ボタン

給湯温度の調節に使用します。(→P. 11)
その他、設定の調節をするときに使用します。

表示画面



スピーカー

設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

呼び出しスイッチ・呼び出しランプ[緑]

押すと台所・増設リモコンにチャイムと“おふろで呼んでいます”の音声流れれます。

運転スイッチ・運転ランプ[緑]

操作するとき最初に「入」にします。

ふろ自動スイッチ・自動ランプ[橙/緑](→P. 13)

設定した温度・水位で自動におふろを沸かします。

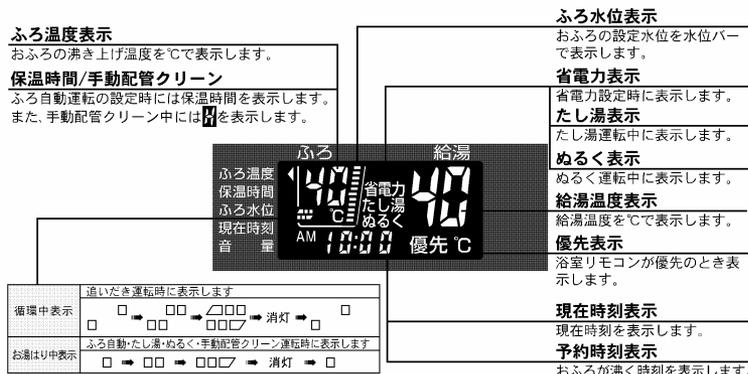
追いだきスイッチ・追いだきランプ[橙](→P. 18)

おふろがぬるくて熱くしたいときに押します。

各部の名称と持ちさき

□浴室リモコン表示画面

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。



■リモコンセット 138-T003型(別売品) 台所リモコン

台所に設置して使用します。
給湯温度の設定やふろ自動・追いだき・予約運転などの操作ができます。

表示画面

設定ボタン

現在時刻・音量など各種設定をするときに押します。

スピーカー

設定の状態や注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

追いだきスイッチ・ランプ[橙](→P. 18)

おふろがぬるくて熱くしたいときに押します。

予約ランプ[緑](→P. 21)

燃焼ランプ[赤]

高温注意ランプ[赤](→P. 12)

予約スイッチ(→P. 21)

時刻を指定しておふろを沸かします。

上下ボタン

給湯温度の調節に使用します。
その他、設定の調節をするときに使用します。

運転スイッチ・ランプ[緑](→P. 13)

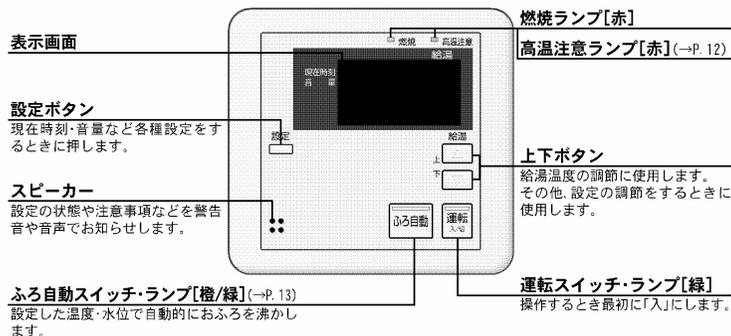
操作するとき最初に「入」にします。
設定した温度・水位で自動におふろを沸かします。

ご利用の前に

各部の名称とたたき

■増設リモコン 138-T323型 (別売品)

浴室や台所以外の部屋に設置して使用します。
給湯温度の設定やふろ自動運転の操作ができますが、追いだし・予約運転は操作できません。



□台所/増設リモコン表示画面

※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。



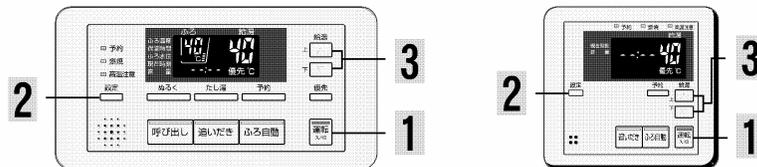
ご利用前の準備

初めてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。

■機器の準備

- 1** 機器や機器周辺の点検・確認を行います (→P. 30)
- 2** 給水元栓を全開にします
機器の下部にあります。
- 3** 給湯栓を開けます
水が出ることを確認したら閉じます。
- 4** ガス栓を全開にします
機器の下部にあります。
- 5** 電源プラグをコンセントに差し込みます
機器周辺にあります。

ご利用前の準備



■現在時刻を合わせる

現在時刻合わせは、浴室・台所・増設のいずれかひとつのリモコンで操作します。ここでは浴室リモコンで説明します。

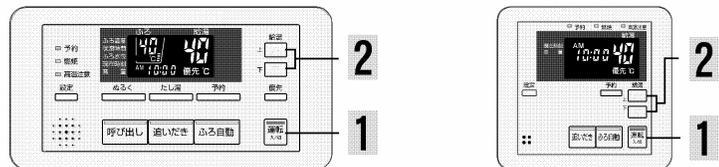
操作	操作後の画面	説明
1 運転入りの点灯を確認します		点灯していないときは、 運転 を押します。
2 設定 を現在時刻の右にが表示するまで押します		“現在時刻です 上下ボタンで入力してください”
3 上または下を押して現在時刻を設定します		“現在時刻、セットされました”



- 電源投入直後や停電からの再通電時は、リモコン画面上にが表示されます。表示が消えるまで、約40秒程度かかります。その間はリモコンの操作はできません。消えるまで待ってから運転スイッチを「入」にしてください。
- 出荷時の時刻表示は「--:--」になっています。停電などで通電が止まった場合も出荷時の表示に戻りますので通電後、時刻の再設定をしてください。
- 時刻の設定がされていない場合には、運転スイッチを「入」にするたびに“現在時刻をセットしてください”と音声ガイドが流れます。また、給湯温度を50℃以上に設定していた場合には“熱い温度にセットされました 注意してください”の音声ガイドも続けて流れます。
- 設定時にはAM (午前)・PM (午後)に注意してください。
- 設定時に**設定** または **運転** を押さないまましばらくたつと確定となりますが、音声ガイドは流れません。

お湯を使うには

おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。



■お湯を使用する

給湯温度の調節は、優先が表示されているリモコンで操作できます。ここでは、台所リモコンで説明します。

操作	操作後の画面	説明
1 運転ランプの点灯を確認します 給湯温度を確認します		運転ランプが点灯していないときは、 優先 を押します。
2 給湯温度を変更する場合は 優先 の点灯を確認して 上 または 下 を押して変更します		温度変更ができない場合は 優先 の点灯を確認します。(→P. 12)
3 給湯栓を開けます 		各リモコンでも燃烧ランプが点灯します。
4 給湯栓を閉じます 		燃烧ランプが消灯します。 ※ただし、他の給湯栓が使用中のときや、ふろ自動運転のお湯張り中は消えません。

警告 ●給湯・シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

ご注意ください

- お湯を1時間以上連続使用すると、給湯栓閉め忘れ確認のためアラーム番号「011」を表示し、燃烧が止まり水になります。その場合は給湯栓を閉じ、(リセット操作) (→P. 34) をしてからご使用ください。
- ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとふろ設定温度で出湯されます。このとき給湯温度の表示は変わりません。ふろ温度が高いときに、給湯・シャワーを使うときはご注意ください。また、ふろ自動運転を待機させ、給湯温度で出湯する設定もできます。(→P. 25)

お湯を使うには

□給湯温度の目安

ご使用の目安 (単位: °C)

32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	48	50	55	60
洗濯	食器洗いなど	シャワー・給湯など	給湯など												

※: 工場出荷時

※50°C以上に設定した場合には、高温注意ランプが点灯します。



「熱い温度にセットされました 注意してください」

- ご注意ください
- 給湯温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。給湯温度は目安としてお考えください。
- 夏期など水温が高い場合、低温設定にしても設定温度より高い湯温となることがあります。

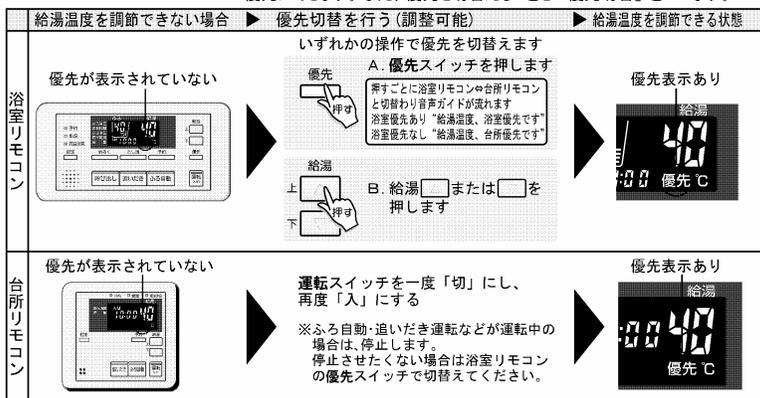
警告 ●シャワー使用中は使用者以外、給湯温度の変更や優先の切替・運転スイッチを「切」にしない。行くとシャワーの温度が急変し、危険です。シャワーを使用するときは、必ず浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

お願い ●ふろ自動運転のお湯張り中・たし湯運転中は、リモコンの**上** または **下** を押すと「ビッピッピ」と警告音が鳴り、給湯温度の設定はできません。

●55°C以下の温度で給湯・シャワーを使用しているときは、やけど防止のため60°Cには設定変更ができません。変更をしたいときは、一旦給湯を止めてから変更してください。

注意 ●サーモスタット混合水栓やシングルレバー混合栓をお使いの場合、給湯機の機種や構造により、設定温度を「高温」にしても水が混合され、湯温がぬるくなる場合があります。

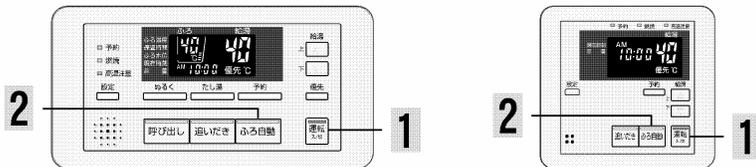
優先切替について 給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。



- 給湯優先切替時には、5°Cより高い設定温度にはなりません。優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60°Cだった場合、自動的に55°Cにセットされます。
- 浴室リモコン・台所リモコンの給湯優先切替時に、設定温度が50°C以上の場合には「熱い温度にセットされました 注意してください」と音声ガイドが流れます。
- 別売の増設リモコンを設置している場合
 - ・台所リモコンが優先のときは、増設リモコンも優先になります。
 - ・増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの運転スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先表示され、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

自動でおふろを沸かすには

スイッチを押すだけで簡単におふろが沸かせます。



■ふろ自動運転をする

ここでは、浴室リモコンで説明します。

操作	操作後の画面	説明
準備 浴槽の排水栓をして ふたをします		初めてご利用されるときはふろ温度・保温時間・ふろ水位の確認および変更は(→P. 15~16) ※排水栓をしないと、アラーム番号“252”が点滅し、運転が停止します。リセット操作(→P. 34)後、再度ふろ自動運転を行ってください。
1 点灯を確認します		点灯していないときは、 [点灯] を押します。
2 ふろ自動を押します ふろ自動運転が始まります		“お湯張りを始めます おふろの栓はしましたか” [お湯張り] [橙]・お湯張り中表示・燃烧ランプが点灯します。 設定水位に近くなると “もうすぐおふろに入れます” ふろ温度に沸き上がると “おふろが沸きました” お湯張り中表示・燃烧ランプが消灯し、[お湯張り] [橙]が[緑]に変わります。 保温時間が終了すると [緑]が消灯します。
おふろが沸き上がると 保温に入ります 保温時間内はふろ温度を保つため、定期的 に沸き上げます		

メモ ●浴室リモコンの沸き上がりの音声ガイドは、優先の給湯温度が50℃以上の場合に、“おふろが沸きました”から“熱い温度にセットされました 注意してください”に変わります。

自動でおふろを沸かすには



おふろ沸かしや保温を途中で停止したいときは

ふろ自動運転中に**[ふろ自動]**を押します。ふろ自動ランプが消灯して、おふろ沸かしが停止します。

警告 ●おふろの沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。

●入浴の際には念のためよくかきまぜて、湯がげんを手で確かめる。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

●ご注意ください

●以下の場合には“もうすぐおふろに入れます”の音声ガイドが流れません。

1. 予約運転でふろ自動運転を行ったとき。
 2. 残り湯があつてふろ自動運転を行ったとき。
- 自動でおふろを沸かしているとき停電になるとふろ自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。「沸かし直しをするには」(→下記参照)をご覧ください。
- 浴槽の湯(水)を排水する際は、必ずふろ自動スイッチが「切」(ふろ自動ランプが消灯)になっていることを確認してください。



●ふろ待機設定をしている場合は、他の場所で給湯を使用している間、お湯張りが止まります。(→P. 25)

●ふろ自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共に、リモコンの燃烧ランプがついたり消えたりすることは異常ではありません。

●残り湯がある場合は、すぐにお湯張りを始めません。これは残り湯の水位を機器が確認するため異常ではありません。

●保温時のおふろ沸かしは、気温等により約15~30分の間隔で行います。

■沸かし直しをするには

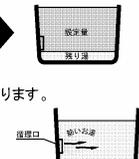
ふろ自動運転をする(→P. 13)の**1**から**2**と同じ操作を行います。

また、追いだき運転をする(→P. 18)でも行うことができます。(たし湯は行いません)

・残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より低い場合は、設定量より残り湯の分だけ水位が増えますので、浴槽のあふれに注意してください。



・残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より高い場合は、たし湯量がばらつくことがあります。特に残り湯がふろ水位付近のときは追いだき運転をする(→P. 18)と同じ操作で行ってください。残り湯がふろ水位付近でふろ自動運転を行うとあふれるおそれがあります。



また、追いだき・たし湯中は循環口から高温の湯が出ることがありますので、ご注意ください。

・残り湯とおふろ温度の差が少ない(約5℃未満)場合、お湯張りをしないときがあります。その場合は希望の水位まで給湯栓からお湯を入れるか、たし湯スイッチを押してたし湯をしてください。

ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには



■ふろ温度の設定

浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 設定 <input type="checkbox"/> をふろ温度の右に <input type="checkbox"/> が表示するまで押します		“ふろ温度です 上下ボタンで入力してください” ふろ温度が点滅します。
ご使用の目安(単位:℃) 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 ----- 毎昇 ----- ぬるい 標準 あつい		

2 上 <input type="checkbox"/> または 下 <input type="checkbox"/> を押してふろ温度を変更します ふろ温度変更後、しばらく押し操作がないと確定します		“ふろ温度、セットされました”
--	--	-----------------

■保温時間の設定

浴室リモコンで操作します

操 作	操作後の画面	説 明
1 設定 <input type="checkbox"/> を保温時間の右に <input type="checkbox"/> が表示するまで押します		“保温時間です 上下ボタンで入力してください” 保温時間が点滅します。 ※保温しない場合は、“0”に設定してください。
保温時間(単位:時間) 0 1 2 3 4 5 6 7 8		

2 上 <input type="checkbox"/> または 下 <input type="checkbox"/> を押して保温時間を変更します 保温時間変更後、しばらく押し操作がないと確定します		“保温時間、セットされました”
--	--	-----------------

❗ご注意ください

- 夏期など水温が高い場合、ふろ温度を低温に設定すると、お湯張り時に燃焼しない場合や設定温度より高い湯温となることがあります。

ふろ温度・保温時間・ふろ水位を変更するには

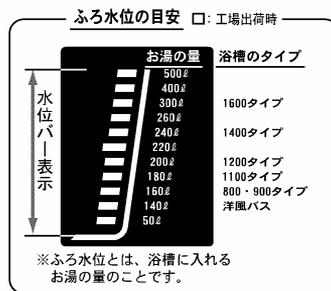


■ふろ水位の設定

浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 設定 <input type="checkbox"/> をふろ水位の右に <input type="checkbox"/> が表示するまで押します		“ふろ水位です 上下ボタンで入力してください” 水位バーが点滅します。 ※水位につきましては下記ふろ水位の目安をご参照ください。

2 上 <input type="checkbox"/> または 下 <input type="checkbox"/> を押してふろ水位を変更します ふろ水位変更後、しばらく押し操作がないと確定します		“ふろ水位、セットされました”
--	--	-----------------

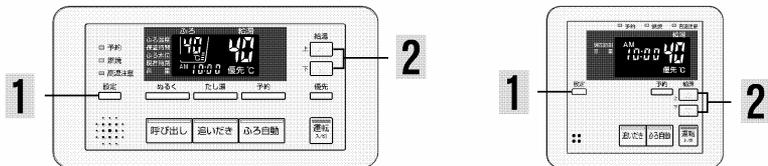


- ❗お願い**
- 浴槽の種類や施工条件・外気温などによって、表示される温度や水位は実際と多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。また、水位を高め設定するとあふれる場合がありますので、最初は工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の浴槽の水位を確認してからお好みの水位に調節することをおすすめします。

- ⓧE**
- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
 - ふろ自動運転中でもふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を変更することができます。
 - 設定時に「 または 」を押さないまましばらくたつと確定となりますが音声ガイドは流れません。

音量を変更するには

浴室・台所・増設リモコンでそれぞれ個別に設定ができます。



■音量の設定

ここでは台所リモコンで説明します。

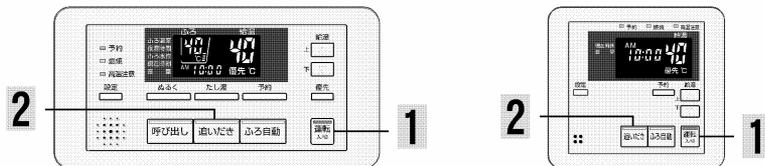
操 作	操作後の画面	説 明
1 設定 <input type="checkbox"/> を音量の右に <input type="checkbox"/> が表示するまで押します 音量の目安 <input type="checkbox"/> 0(無音) <input type="checkbox"/> 1(小) <input type="checkbox"/> 2(中) <input type="checkbox"/> 3(大) 3(大):工場出荷時		“音量です 上下ボタンで入力してください” 音量が点滅します。サンプル音が流れますのでお好みの音量に設定してください。
2 <input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> を押して音量を変更します 変更後 <input type="checkbox"/> を押す、またはしばらくたつと確定します	 	“音量、セットされました” 現在時刻表示に戻ります。



- 変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、呼び出しスイッチが押されたときのチャイムや音声は音量“小”で流れます。
- スイッチやボタン操作時の音、警告音“ピピピピ”の音は調整できません。
- 設定時に または を押さないましばらくたつと確定となりますが音声ガイドは流れません。
- 設定ボタンを順に押して各設定を続けて変更することもできます。設定が終了すると音声ガイドが、設定した項目についてお知らせします。

お風呂のお湯を熱くするには

浴室のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を“追いだき”といいます。



■追いだき運転をする

浴室リモコンまたは台所リモコンで操作できます。ここでは浴室リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 運転 <input type="checkbox"/> の点灯を確認します		点灯していないときは、 <input type="checkbox"/> を押します。
2 追いだき <input type="checkbox"/> を押します	 	“お風呂を沸かします” 運転が開始すると、追いだきランプ・浴室リモコンの循環中表示・燃焼ランプが点灯します。 運転が終了すると、追いだきランプ・燃焼ランプが消え、浴室リモコンの循環中表示も消えます。

【以下の条件で沸き上げて自動的に停止します】

浴室リモコンで操作	浴槽の湯の温度+2℃まで沸かします。(追いだき時の最高温度:50℃)
台所リモコンで操作	浴槽の湯の温度+2℃が設定したふろ温度より低い場合は設定したふろ温度まで沸かします。

もっと熱くしたいときには

追いだき運転終了後にもう一度、浴室リモコンの を押します。
 お好みの湯かげんになったら、 を押して停止してください。

追いだき運転中に停止するには

追いだき運転中に を押します。
 追いだきランプ・燃焼ランプと浴室リモコンの循環中表示が消灯して、追いだき運転を停止します。

▲注意 ●追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯(水)があることを確認する。

●お願い ●追いだきスイッチは長く(5秒以上)押さないでください。追いだきスイッチを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。(→P. 27)
 誤って押し続けた場合はもう一度、追いだきスイッチを押してください。

お風呂のお湯をぬるくするには

浴槽のお湯が熱いときは、ぬるくすることが
できます。この機能を「ぬるく」といいます。



■ぬるく運転をする

自動的に約12ℓの水を入れかはんします。浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 の点灯を確認します		点灯していないときは、 を押します。
2 を押します	 	ぬるく ・お湯はり中表示が点灯し、ぬるく運転を開始します。 約12ℓの水を入れて、かはんしてから自動停止します。 運転が終了するとお湯はり中表示・ ぬるく が消えます。

もっとぬるくしたいときには

ぬるく運転終了後にもう一度、 を押します。
お好みの湯かげんになったら、 を押して停止してください。

ぬるく運転中に停止するには

ぬるく運転中に を押します。
お湯はり中表示・**ぬるく**が消灯してぬるく運転が停止します。

❗ご注意ください

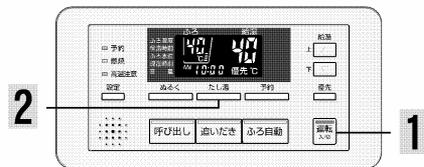
- ぬるく運転中に給湯・シャワーを使用すると、ぬるく運転は一時中断します。給湯・シャワーを終了すると、ぬるく運転を再開します。



- ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。
- ふろ自動運転の燃烧中や給湯・シャワーの使用中は、ぬるくスイッチを使用できません。押すと“ピピピッ”と警告音が鳴ります。

お風呂のお湯を増やしたいときには

浴槽のお湯の量を増やすことができます。
この機能を「たし湯」といいます。



■たし湯運転をする

自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ入れかはんします。浴室リモコンで操作します。

操 作	操作後の画面	説 明
1 の点灯を確認します		点灯していないときは、 を押します。
2 を押します	 	たし湯 ・お湯はり中表示・燃焼ランプが点灯し、たし湯運転を開始します。 約24ℓのお湯を入れて、かはんしてから自動停止します。 運転が終了すると燃焼ランプ・お湯はり中表示・ たし湯 が消えます。

もっとお湯を増やしたいときには

たし湯運転終了後にもう一度、 を押します。
お好みの湯量になったら、 を押して停止してください。

たし湯運転中に停止するには

たし湯運転中に を押します。
燃焼ランプ・お湯はり中表示・**たし湯**が消灯して、たし湯運転が停止します。

❗ご注意ください

- たし湯運転中に給湯・シャワーを使用するとふろ温度で出湯されます。このとき給湯温度の表示は変わりません。ふろ温度が高いときに、給湯・シャワー等を使うときはご注意ください。
また、たし湯を待機させ、給湯・シャワーを給湯温度で出湯させる設定もできます。(→P. 25)
- 夏期など水温が高い場合、ふろ温度を低温に設定すると、たし湯時に燃焼しない場合があります。
- たし湯運転中に給湯栓を開けたときや給湯使用中にたし湯を開始すると、給湯栓から出るお湯の温度はふろ温度になります。給湯温度に戻すには給湯を一旦停止して、たし湯終了後再度給湯栓を開けてください。給湯温度が50℃以上の場合はチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました 注意してください”とお知らせします。



おふろが沸く時刻を予約するには

おふろの沸き上がり時間を予約することができます。

予約の設定は予約時刻の60分前までに設定してください。
予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

- 浴槽の排水栓および、ふたがしてあることを確認。
- 現在時刻が合っているかを確認。(→P.10)
- 予約時刻を確認。
- ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を確認。(→P.15~16)

予約の設定は予約運転ごとに毎回行ってください

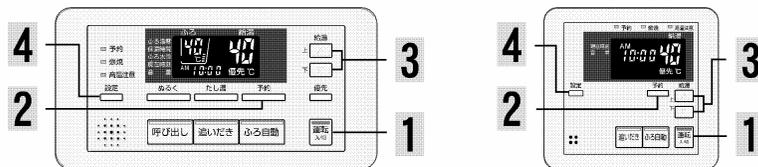


■予約運転をする

ここでは浴室リモコンで説明します。

操 作	操作後の画面	説 明
準備 浴槽の排水栓をして ふたをします		※出荷時の予約時刻はPM6:00になっています。
1 運転ランプの点灯を確認します		運転ランプが点灯していないときは、 [運転] を押します。
2 [予約] を押します		“予約時刻を変更する場合は、上下ボタンで入力して、設定ボタンを押してください” 予約ランプが点灯します 予約時刻が点滅します
3 予約時刻を設定します + [上] または [下] を押して 予約時刻を変更します		予約時刻の変更をしない場合は押さずにはばらくすると、予約の確定となります。
4 [設定] を押す、またはしばらく押し操作がないと確定します		“予約されました おふろの栓はしましたか” 予約時刻の点滅から現在時刻の点灯に戻ります。

おふろが沸く時刻を予約するには



操 作	操作後の画面	説 明
5 予約した時刻におふろが沸き上がるように、ふろ自動運転が始まります		予約ランプが点灯します。 ● [橙] ・お湯張り中表示・燃烧ランプが点灯します。
おふろが沸き上がると保温に入ります		おふろが沸き上がると“おふろが沸きました” お湯張り中表示・燃烧ランプが点灯し、 [橙] が [緑] に変わります。
<p>予約運転を解除したいときは ※リモコンの運転スイッチの「入」/「切」に関係なく操作ができます。</p> <p>予約ランプが点灯している場合 → [予約]を押します。 “予約、解除されました” 予約ランプが消えて予約が解除されます。</p> <p>おふろ沸かしが始まっている場合 → [停止]を押します。 ふろ自動ランプが消えて運転が停止します。</p>		



- 予約時刻は記憶されますので毎回時刻を設定する必要はありません。
- リモコンの予約ランプが点灯しているときは、運転スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。また、予約ランプの点灯中は運転スイッチ「入」/「切」に関係なく、予約スイッチを押すと予約が解除されますのでご注意ください。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など通電が止まると、予約は解除されます。再通電後、現在時刻を合わせてから再度予約スイッチを押してください。
- 時刻表示が「--:--」になっている場合、予約スイッチは使用できません。(警告音でお知らせします)

省電力機能について

5分以上何も操作しないときに、リモコンの画面表示を消して電力の節約をします。



■省電力モードの解除 浴室リモコンで操作します。

操作	操作後の画面	説明
1 の点灯を確認します 省電力があることを確認します		点灯していないときは、 を押します。 省電力モード中の場合は、リモコンの画面を表示して確認します。 ※工場出荷時は省電力「入」になっています。
2 浴室リモコンの を5秒以上押し続けます		“省電力、解除されました” 各リモコンの省電力が消えます。

■省電力モードの設定 浴室リモコンで操作します。

操作	操作後の画面	説明
1 の点灯を確認します 省電力がないことを確認します		点灯していないときは、 を押します。
2 浴室リモコンの を5秒以上押し続けます		“省電力、セットされました” 各リモコンに省電力が表示します。 運転スイッチの「入」/「切」に関係なく、5分以上操作がない場合、画面表示が消えます。

省電力モード中に画面を表示させるには各スイッチ(呼び出しを除く)およびボタンを押すと表示します。

追いだき ふる自動

①ご注意ください
左図のスイッチは、押すと画面が表示されると同時に、運転が開始します。

リモコン操作をしなくてもこんな場合は表示します

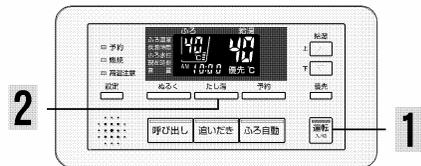
- ・お湯を使用しているとき
- ・給湯温度が50℃以上に設定されているとき
- ・ふる自動運転中(保温を含む)

お願い ●省電力モード中で画面が消えているときに給湯・シャワーを使うときは、画面を表示させて給湯温度を確認してからご使用ください。

- ふる自動・追いだき・呼び出しのリモコン操作は、画面が消えている状態でも受け付けます。
- 省電力モードは運転スイッチの「入」/「切」では解除できません。



知っている则便利な機能



■手動配管クリーンをする

追いだき配管内の残り湯をきれいなお湯で流し出す機能です。浴室リモコンで操作します。

操作	操作後の画面	説明
1 の点灯を確認します		点灯していないときは、 を押します。
2 を5秒以上長押しします 手動配管クリーンを開始します		 ●とお湯がり中表示を表示します。 6ℓのふる温度設定のお湯を1分弱で流し、自動停止します。
		終了すると、画面は現在時刻表示に戻ります。

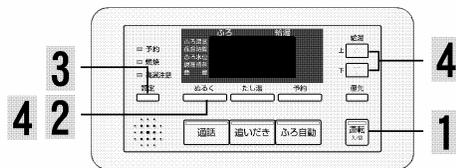
手動配管クリーン中に停止するには

を押します。画面表示が通常に戻り、手動配管クリーンが停止します。



●手動配管クリーン動作中に給湯・シャワーを使用すると、動作を終了します。

機能の設定を変更する



ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯中に給湯・シャワーを使用した場合、給湯温度で出湯することができます。お湯を使用している間はふろ自動運転のお湯張りやたし湯を停止（待機）することができます。浴室リモコンで操作します。

■ふろ待機設定をする

操作	操作後の画面	説明
1 の消灯を確認します		運転ランプが点灯しているときは、 を押して「切」にします。
2 を「ピッ」と鳴るまで(2秒以上)長押しします		が点滅します。
3 を押します		へ点滅が変わります。
4 または を押して を選択します		→ふろ自動お湯張り中注湯優先 ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯中に給湯の同時使用が可能。 給湯・シャワーはふる温度で出湯されます。(工場出荷時) →ふろ自動お湯張り中給湯優先 ふろ自動運転のお湯張り中やたし湯中に給湯を使用すると、ふろ自動運転のお湯張りが停止(待機)します。 給湯・シャワーは給湯温度で出湯されます。 “セットされました”
を押します		

●変更した内容は、次回変更するまで記憶されます。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

- 注意**
- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
 - 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき(外気温-15℃、有風5m/秒程度まで)

機器の電源プラグは、抜かないでください

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水(湯)を循環して、ふろ配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを切ると凍結予防装置がはたらきません。

- 凍結予防装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
- 配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材または電気ヒータを巻くなど地域に応じて処置をしてください。



浴槽の水(湯)は循環口上部より5cm以上高い位置にする

- 浴槽の水(湯)を循環し、凍結予防をするため浴槽の残り湯は捨てずそのままにしておいてください。

お願い ●お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

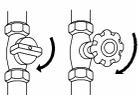
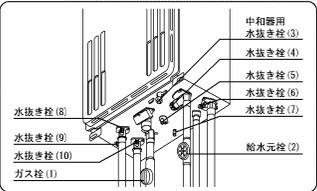
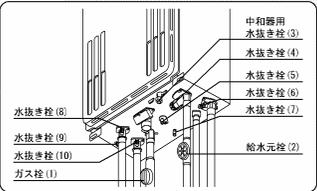
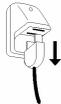
操作	説明
1 を押してリモコンを「切」にします	必ず行います。
2 ガス栓を閉じます	機器の下部にあります。
3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続けます	流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量を確認してください。

- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、運転スイッチを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようお願いしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.5)
 - サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

冬期の凍結予防をするには

■ 機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

操作	説明
1 ガス栓(1)、給水元栓(2)を閉じます 	機器の下部にあります。
2 浴槽の水を排水します 浴室リモコンの 追いだし の点灯を確認し、 追いだし を5秒間押し続けます	※浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「032」が点滅します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。
3 すべての給湯栓を全開にします 	
4 給湯側水抜き栓(3)(4)(5)(6)(7)を外します 	
5 追いだし側水抜き栓(8)(9)(10)の水が出るまでゆるめます 	
6 必ず電源プラグを抜きます 水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元通りに取り付けてください 	機器の周辺にあります。 電源プラグを抜き忘れずと機器の故障の原因となります。

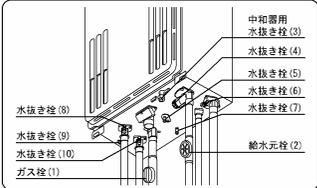
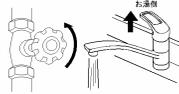
△注意 ●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合は、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P. 31)
 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

○お願い ●水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
 ●水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。

冬期の凍結予防をするには

■ 再使用する時

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

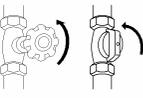
操作	説明
1 水抜き栓(3)～(10)およびすべての給湯栓が閉じていることを確認します 	
2 給水元栓(2)を開け、機器や配管より水漏れがないか確認します また、すべての給湯栓を開けて水が出ることも確認します 	給水元栓(2)は機器の下部にあります。 水が出ることを確認したら、給湯栓を閉じます。
3 ガス栓(1)を開けます 	機器の下部にあります。
4 電源プラグを差し込みます 	機器の周辺にあります。
5 リモコンの現在時刻を設定します(→P. 10) 	
6 ふる自動 を押し、ふる自動運転を行います 浴槽に湯を張り水位などを確認します(再度水漏れがないか確認してください)	※おふるを満かしながら、自動的にポンプに呼び水をするためです。

△注意 ●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合は、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと閉める。(→P. 31)

○お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき 凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

操 作	説 明
1 ガス栓を閉じます 	機器の下部にあります。
2 給水元栓を閉じます 	機器の下部にあります。 ※配管が破損していた場合の水漏れを防止する目的です。
3  を押して リモコンを「切」にします 	
4 ときどき給水元栓を開けて、 給湯栓から水が出ることを確認 します 水が出てくれば使用できます 	給水元栓は、機器の下部にあり ます。
5 給水元栓を全開にし、ガス栓 を開けます 	機器の下部にあります。 必ず、機器および配管から水漏れ がないことを確認します。
6  を押して リモコンを「入」にします 	

▲注意 ●配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかりと開める。（→P. 31）

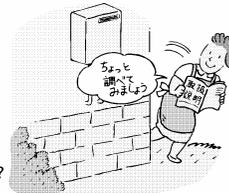
●お願い ●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなど水漏れていないことをご確認ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント（月1回程度）

次の7つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？
また、整然とされていますか？
機器の周辺が雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫（コキブリなど）が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 6 浴槽に循環口フィルターがついていますか？
- 7 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が塞がれていませんか？
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口を塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



■お手入れのしかた（月1回程度）

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水に濡らしたやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してお使いいただくために、1年に1回程度の定期点検をおすすめします。
なお、給水用具（逆流防止装置）については、（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4～6年に1回程度をおすすめします。
点検はお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

▲警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

●ご注意ください



- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
- お願い ●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

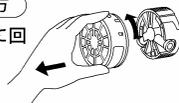
点検のポイント・お手入れのしかた

■循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。

循環口フィルターの外し方

循環口フィルターを左に回して手前に引きます。



循環口フィルターを掃除する

歯ブラシなどで洗います。掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。

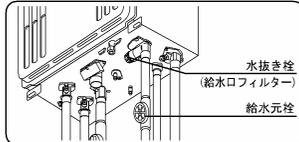
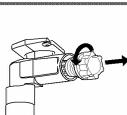


■給水口フィルターの掃除

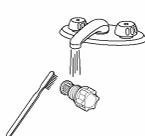
給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築の場合)

1 給水元栓を閉じる

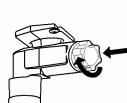
2 水抜き栓を外す



3 歯ブラシなどで洗う



4 元のように取り付ける



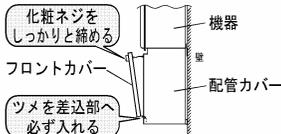
■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

配管カバー(または据置台)のフロントカバーについて

配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元の通り取り付けてください。

- ①カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ネジを確実に締める。



お願い ●循環口フィルターは必ず取り付けでご使用ください。循環口フィルターを付けないで運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。

- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思っても、よく調べてみると故障ではない場合があります。まずは次の点を確認してください。

こんなとき

ここを調べてください

リモコンの画面に 表示が出ない	省電力モード中ではありませんか (→P.23) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→P.9) 停電していませんか (→P.5)
アラーム番号「032」「252」「562」 が点滅し、動作しない	給水元栓が全開になっていますか (→P.9) 断水していませんか (→P.5) おふろの排水栓はしっかりはまっていますか (→P.13) 循環口フィルターが詰まっていませんか (→P.31)
燃焼ランプが点灯しない お湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか (→P.9) 給水元栓が全開になっていますか (→P.9) 断水していませんか (→P.5) 給湯栓が十分開いていますか (→P.11) 給水口フィルターが詰まっていませんか (→P.31) 浴槽に水(湯)が入っていますか(追いだし運転時) (→P.18) 循環口フィルターが詰まっていませんか(ふろ使用時) (→P.31)
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	給湯栓が十分開いていますか (→P.11) 温度調節は適切ですか (→P.11) シングルレバー式・2ハンドル式・サーモスタット式混合水栓を使用し、高温のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃に設定してください
おふろ使用中に消火した	ガス栓が全開になっていますか (→P.9)
浴槽の水があつい(ぬるい)	ふろ温度の設定は適切ですか (→P.15) 循環口フィルターが詰まっていませんか (→P.31)
浴槽の水が少ない(多い)	ふろ水位の設定は適切ですか (→P.16) 循環口フィルターが詰まっていませんか (→P.31)

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

■こんな時は故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞らずで水になった	この機器は通水量が約3.5ℓ/分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき 低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでに少し時間がかかります。
給湯使用中にお湯の量が変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「ぬるく」「ふる自動」「たし湯」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。
給湯栓を開けたときお湯の量が変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量調整しています。すぐに湯量は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間、コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
出湯停止後しばらく燃焼ファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
ふる自動スイッチを押した後お湯入れがときどき停止する	浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためおよそ15～30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「ぬるく」「ふる自動」「追いだし」「たし湯」運転終了後、かいはんのためポンプがしばらく回ります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかかえています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
冬期など寒いとき追いだきのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。
寒い日排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。この機器は、熱効率が高いため、白い湯気が出やすくなっています。
時計表示が合っていない	停電や電源プラグをコンセントから抜いた場合の再通電時は、時刻表示が「--」の初期状態に戻りますので、時刻の再設定をしてください。(→P.10)

以上のことをお調べの上、**買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。**

故障かな?と思ったら

- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転が停止します。
- アラーム番号が表示点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは、表示されているアラーム番号もお知らせください。

アラーム番号	内容	処置方法	使用状態	アラーム番号	内容	処置方法	使用状態
00	給湯80分以上連続使用	給湯栓を閉じてリセット	給湯	00	ふる自動/ぬるく/たし湯	修理を依頼する	ふる自動、ぬるく、たし湯
030	非対応ガス種異常	給湯栓を依頼する	給湯	422	湯量センサ異常		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
032	凍結予防水抜き異常	浴槽の水抜きを確認後リセット	凍結予防水抜き時	510	元ガス電磁弁異常		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
101	給湯自己診断警告	修理を依頼する	給湯、ふる自動、たし湯	511	給湯ガス電磁弁異常		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
102	ふる自己診断警告		ふる自動、追いだし	512	給湯ガス電磁弁異常		ふる自動、ぬるく、たし湯
111	給湯側点火不良		給湯、ふる自動、たし湯	562	湯温電磁弁異常		ふる自動、ぬるく、たし湯
112	追いだし側点火不良		ふる自動、ぬるく、たし湯	700	電圧異常		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
121	給湯側失火	ガス栓確認後リセット	給湯、ふる自動、たし湯	711	給湯ガス電磁弁回路不良		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
122	追いだし側失火		ふる自動、ぬるく、たし湯	712	ふるガス電磁弁回路不良		ふる自動、ぬるく、たし湯
140	空だき安全装置作動	修理を依頼する	給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯	721	給湯側ブリ、ポスト異常	修理を依頼する	給湯、ふる自動、たし湯
252	ふる水流スイッチ異常	浴槽の水抜きを確認後リセット	ふる自動、ぬるく、たし湯	722	ふる側ブリ、ポスト異常		ふる自動、ぬるく、たし湯
291	中和器詰まり	修理を依頼する	給湯、ふる自動、たし湯	740	台所リモコン通信異常		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
300	外気温サーミスタ断線/短絡		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯	750	浴所リモコン通信異常		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
302	ふるサーミスタ断線/短絡		ふる自動、ぬるく、たし湯	800	給湯給気汚染異常		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
311	出湯温サーミスタ断線/短絡		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯	902	ふる給気汚染異常		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
312	ふるサーミスタ断線/短絡	修理を依頼する	ふる自動、ぬるく、たし湯	921	中和器交換警告		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
321	入水温サーミスタ断線/短絡		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯	931	中和器寿命		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
322	ふる住サーミスタ断線/短絡		ふる自動、ぬるく、たし湯	901	給湯自己診断異常		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯
331	凍結温サーミスタ断線/短絡		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯	992	ふる自己診断異常		ふる自動、ぬるく、たし湯
332	給湯自己診断フレームコリ断線/短絡		給湯、ふる自動、ぬるく、たし湯				

リセット操作 を一度「切」にし、3秒以上経過してから、 を「入」にする。

■アラーム表示について

機器に不具合が生じたとき、運転ランプの点滅とアラーム番号でお知らせします。アラーム番号が点滅表示したときは、不具合の内容と表示されているアラーム番号をお買い上げの販売店または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

〔浴室リモコン〕
番号によっては、給湯やふる温度表示部に補足の番号が出ることがあります。ご連絡の際は、アラーム番号と併せてお知らせください。



〔台所/増設リモコン〕
簡易表示のため、アラーム番号のみを点滅表示します。



●ご注意ください

- アラーム番号“921”・“931”が表示されたときは、中和器の交換が必要なため、修理を依頼してください。アラーム番号“921”では機器はしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅したままです。点滅中はリモコンに温度の表示がされませんので、湯温を確かめてから使用してください。アラーム番号“931”では機器の使用はできません。
- アラーム番号“101”・“102”が表示されたときは、燃焼状態を自己診断し、良好な燃焼を維持できない場合にお知らせする警告表示です。“101”・“102”の警告表示が点滅している間も機器を使用することはできませんが、機器の燃焼が悪化している状態で使用し続けると、最終的に安全装置がはたらいて“991”・“992”のアラームとなり、機器の使用ができなくなりますので、アラーム番号“101”・“102”が点滅したときは、修理を依頼してください。
- アラーム番号“111”・“121”が表示されたときは、給湯栓を閉じるにより、アラームが解除される場合があります。



長くお使いいただくために

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P. 32~34)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合にはお客様ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。
 - (1)氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2)型番(例) 135-T110型
ガスの種類(例) 13A
※銘板をご覧ください。(→P. 3)
 - (3)現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (4)訪問ご希望日

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されると、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のごガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きくなるような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にもともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P. 27)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

【仕様表】

項目	内容
型式番	131-T110型
型名	GX-S2400AW
外形寸法(mm)	幅470×奥行263×高さ600
質量(kg)	32
種類	先止め式
給湯方式	屋外強制給気方式
給排気方式	屋外壁掛形
設置方式	
点火方式	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
使用水圧	100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm ²)
水圧最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)
最低作動流量	給湯 3.5ℓ/分 追いだし 3.8ℓ/分
接続	ガス 13A:20A(R3/4)オネジ LPガス:15A(R1/2)オネジ 給水・給湯 20A(R3/4)オネジ 追いだし往・戻 15A(G1/2)オネジ ドレン接続口 15A(R1/2)オネジ
電源	AC100V(50/60Hz)
電気関係	モコン側 24V以下 待機時 3.2W(浴室・台所リモコン取付時) 消費電力 170W 凍結予防作動時 245W
電源コード/リモコンコード	VCT(2心)機外長2.0m 浴室リモコン2心、台所リモコン2心
安全装置	ファン回転検出装置(燃焼ファン) 漏電安全装置(漏電スイッチ) 立消え安全装置(フレームロック) 誘導扉保護装置(サージアブソーバ) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(凍結予防ヒーター・ポンプ運転) 空だき安全装置(ハイメタル式) 過電流安全装置(電流ヒューズ) 空だき防止装置(水量センサー・水流スイッチ) 自己診断機能(フレームロック) 過熱防止装置(温度ヒューズ)

【能力表】

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量kW(kcal/h)			出湯能力(最大)ℓ/分		ガス 接続
	給湯・ふろ同時使用	給湯(最大)	ふろ	水温+ 25℃上昇	水温+ 40℃上昇	
都市ガス 13A	55.8(48,000)	44.2(38,000)	11.6(10,000)	24.0	15.0	20A(R3/4)
LPガス	55.8(4,00kg/h)	44.2(3.17kg/h)	11.6(0.83kg/h)	24.0	15.0	15A(R1/2)

- ガス:JISに規定する標準ガス、標準圧力のため。
- 出湯能力は、水圧200kPa(2kgf/cm²)のときで、温度を高め(設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量)の計算値になります。
- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。